

幼稚園・保育所(園)アプローチ期(1～3月)

小学校 スタート期(4～5月)

学びの芽生え

- 楽しいことや好きなことに集中することを通して、様々なことを学んでいく。
- 遊びを中心として、頭も心も動かし様々な対象と直接関わりながら、総合的に学んでいく。
- 日常生活の中で、様々な言葉や非言語によるコミュニケーションによって他者と関わり合う。

自覚的な学び

- 学ぶことについての意識があり、集中する時間とそうでない時間(休憩の時間等)の区別が付き、自分の課題の解決に向けて、計画的に学んでいく。
- 各教科等の学習内容について授業を通して学んでいく。
- 主に授業の中で、話したり聞いたり、読んだり書いたり、一緒に活動したりすることで他者と関わり合う。



【幼児教育】

- ◆5領域(健康、人間関係、環境、言葉、表現)を総合的に学んでいく教育課程
- ◆子供の生活リズムに合わせた1日の流れ
- ◆身の回りの「人・もの・こと」が教材
- ◆総合的に学んでいくために工夫された環境の構成



【小学校教育】

- ◆各教科等の学習内容を系統的に学ぶ教育課程
- ◆時間割に沿った1日の流れ
- ◆教科書が主たる教材
- ◆系統的に学ぶために工夫された学習環境



支援のポイント

- 教育の違いに双方向からアプローチ
- 連続性のある計画的な支援による円滑な接続
- 幼児期に育まれた力を見取り、生かす指導

アプローチカリキュラム

「10の姿」を念頭に、遊びの中で一人一人の発達に必要な体験が得られるような状況を整え、必要な援助を行う。

- 【時間の工夫】
- ・一日の生活の流れがわかり、幼児が自分から進んで行動できるようにする。
- 【保育の工夫】
- ・遊びや生活を通して、協同的な学びが十分に培われるように、協同的な遊びや体験の充実を図る。
 - ・当番活動等を通して、役割を果たすことの充実感や達成感をもてるようにする。
- 【小学校生活への配慮】
- ・小学生との交流などを通して、小学校生活への期待やあこがれをもてるようにする。
 - ・家庭と連携し、基本的な生活習慣を身に付けられるようにする。
 - ・幼児期における指導の経過をまとめ、育ちの様子に加え、有効な支援の手立て等について小学校へ引き継ぎを行う。

スタートカリキュラム

「10の姿」を手掛かりに、幼児期からの学びと育ちを生かしてスタートカリキュラムを編成し、小学校生活への円滑な接続を図る。

- 【弾力的な時間割や学習活動の工夫】
- ・朝には、幼児期に経験した遊びや歌、運動などを取り入れ、生き生きと楽しい気持ちで1日の学校生活を始めるようにする。
 - ・15程度のモジュールで時間割を構成したり、活動性のある学習活動を取り入れたりするなどで、メリハリのある生活を送れるように工夫する。
- 【生活科を中心とした総合的・関連的な指導】
- ・自分との関わりを通して総合的に学ぶ子ども達の発達特性を踏まえ、各教科のねらいを関連付け、生活科を中心とした総合的・関連的な指導の充実を図る。
 - ・児童が自らの思いや願いの実現に向けた活動をゆったりとした時間の中で進めていけるようにする。
- 【幼児教育との関わり】
- ・幼児期の育ちを生かし、できることは自分でできるようにするための環境を整える。

視点 10の姿

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

小学校で育ってほしい姿

生活する力	健康な心と体	<ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナーを守って、決められた時間内で楽しく食事ができる。 ・箸やスプーンを正しく使うことができる。 ・十分に体を動かして安全に遊ぶことができる。 ・自分でトイレを済ませることができる。 ・手洗いやうがいなどができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の生活の流れがわかり、保育者の話を聞いて行動できる。 ・衣服を量んだり、自分の持ち物の整理整頓をしたりすることができる。 ・失敗してもあきらめずにやり遂げようとする。 ・身近な自然の美しさや不思議さを感じ、興味関心を深める。 ・動植物など、命あるものを慈しみ、大切にしようとする。 				
	自立心	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の生活の流れがわかり、保育者の話を聞いて行動できる。 ・衣服を量んだり、自分の持ち物の整理整頓をしたりすることができる。 ・失敗してもあきらめずにやり遂げようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然の美しさや不思議さを感じ、興味関心を深める。 ・動植物など、命あるものを慈しみ、大切にしようとする。 ・進んで友達と関わり、互いのよさを認め合いながら生活しようとする。 ・友達と共通の目的をもち、力を合わせて遊ぶことができる。 				
人と関わる力	自然との関わり ・生命尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然の美しさや不思議さを感じ、興味関心を深める。 ・動植物など、命あるものを慈しみ、大切にしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然の美しさや不思議さを感じ、興味関心を深める。 ・動植物など、命あるものを慈しみ、大切にしようとする。 ・進んで友達と関わり、互いのよさを認め合いながら生活しようとする。 ・友達と共通の目的をもち、力を合わせて遊ぶことができる。 				
	道徳性・規範意識の芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで友達と関わり、互いのよさを認め合いながら生活しようとする。 ・友達と共通の目的をもち、力を合わせて遊ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで友達と関わり、互いのよさを認め合いながら生活しようとする。 ・友達と共通の目的をもち、力を合わせて遊ぶことができる。 				
学ぶ力	社会生活との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や先生、地域の方などに進んであいさつをすることができる。 ・名前を呼ばれたときなどに、返事をすることができる。 ・公共の施設や物を大切にしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や先生、地域の方などに進んであいさつをすることができる。 ・名前を呼ばれたときなどに、返事をすることができる。 ・公共の施設や物を大切にしようとする。 				
	言葉による伝え合い	<ul style="list-style-type: none"> ・感じたことや考えたことを相手にわかるように言葉で伝えようとする。 ・先生や友達の話や、相手の方を向きながら最後まで聞くことができる。 ・自分のわからないことや知りたいことを尋ねることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感じたことや考えたことを相手にわかるように言葉で伝えようとする。 ・先生や友達の話や、相手の方を向きながら最後まで聞くことができる。 ・自分のわからないことや知りたいことを尋ねることができる。 				
学ぼう力	思考力の芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ・物の性質や仕組みなどを生かして、考えたり、予想したり、工夫したりしようとする。 ・友達の様々な考えに触れながら、自分の考えをよりよいものにしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物の性質や仕組みなどを生かして、考えたり、予想したり、工夫したりしようとする。 ・友達の様々な考えに触れながら、自分の考えをよりよいものにしようとする。 				
	数量や図形、標識や文字などへの関心・感賞	<ul style="list-style-type: none"> ・文字に関心をもち、文字を使って相手に伝えることを楽しむことができる。 ・ひらがなで書かれた自分の名前がわかる。 ・物を数えたり、量比べたり、形を組み合わせたたりする活動を楽しむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字に関心をもち、文字を使って相手に伝えることを楽しむことができる。 ・ひらがなで書かれた自分の名前がわかる。 ・物を数えたり、量比べたり、形を組み合わせたたりする活動を楽しむことができる。 				
幼保小連携事業	幼保小連携協議会	学校参観	保育参観	学校体験入学	引継連絡会	幼保小連携カリキュラム研修会	児童指導員活用事業

幼保小連携事業

- 幼保小連携協議会
- 学校参観
- 保育参観
- 学校体験入学
- 引継連絡会
- 幼保小連携カリキュラム研修会
- 児童指導員活用事業